令和元年５月２４日発行

あつま 生涯学習だより

発行　厚真町教育委員会　電話２７－２４９５

主な記事

- 地域の力で子どもを守る・育てる
- 厚真放課後子どもｾﾝﾀｰ運用開始
- 教科書展示会、町民登山会、４月教育委員会、プラネタリウム
- 文化活動はじめてみませんか
- 厚真町育英資金貸付のご案内
- 図書室だより
- 放課後子ども教室活動紹介

「地域の力で子どもを守る育てる」

地域で子どもの安全を守る

先日、滋賀県大津市で保育園児2名が犠牲になる交通事故が発生しました。悲惨な事故防止のために、厚真町としても地域全体で子どもを守る取組をいっそう強化していくことが望まれます。

町内の各学校では、集団登下校の励行や校区内の危険箇所を示したマップ作成など、事故の未然防止に向けた取組を進めています。保護者や地域の皆さんも、日ごろから子どもたちの交通事故防止や、池や川･用水路などによる事故防止に向け、指導にご協力をお願いします。

また、教育委員会と青少年健全育成委員会では、町内の全家庭・全事業所に依頼しての『子どもを変質者から守るひなんの家』運動など関係各方面と連携しながら子どもの見守りに取り組みます。今一度、子どもの安全について各家庭･地域で再確認し、未来を担うかけがえのない子どもたちを守り育てていきましょう。

学校運営協議会（中央地区）

4月 25 日(木)、平成 31 年度第1回中央地区学校運営協議会が開かれました。中央小学校1～6年生の授業見学をした後、各学校から経営方針の説明があり、それぞれ承認されました。意見交換では、「自治会として学校に手助けできることはないか」「通学路が暗くて危険な箇所がある」「地域住民が気軽に学校へ足を運べるよう敷居が低くなるとよい」「高齢者が昔の遊びを児童に教える等の企画はどうか」など、活発な意見が出されました。

厚真町のコミュニティスクールとは

「地域とともにある学校づくり」を基盤に
子どもたちが社会を生き抜くために必要な力の育成を目指して

地域にとって

- 地域の人々が集うつながりの場
- 地域ネットワークの形成
- 住民に安心と生きがいを与える地域力の向上

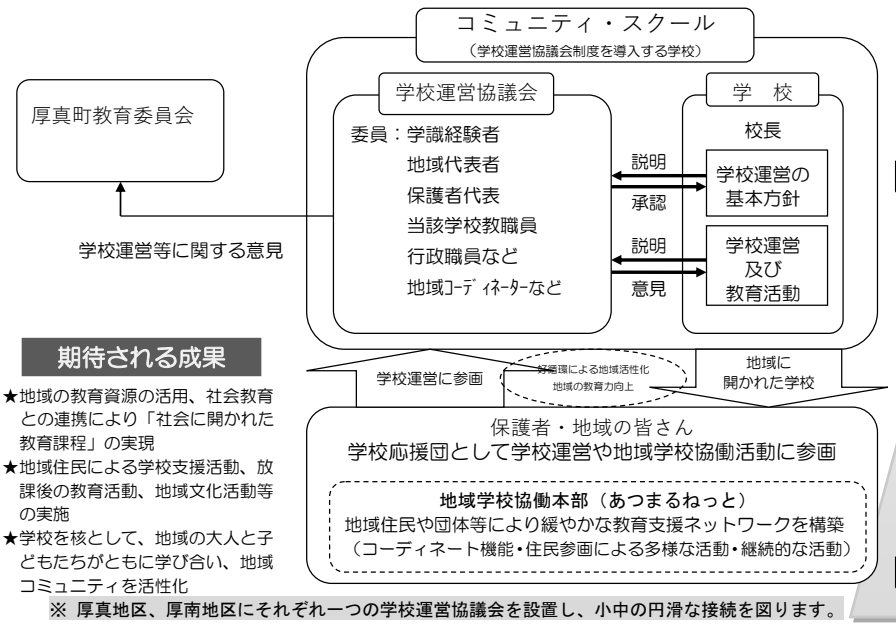
役割と活動

- 学校運営等に関する意見を教育委員会又は学校長に述べられます。（仲介的役割）
- 校長の作成する学校運営の基本方針に対して承認をします。
- 地域の人材や教育資源を活用した教育課程の実現など、学校を核とした地域づくりに取り組みます。
- 地域の教育力を生かし、地域住民が学校を支援する活動の仕組みづくりをします。
- 様々な分野のボランティアを一元化し、地域人材の力を生かせる体制づくりをします。

期待される成果

★地域の教育資源の活用、社会教育との連携により「社会に開かれた教育課程」の実現
★地域住民による学校支援活動、放課後の教育活動、地域文化活動等の実施
★学校を核として、地域の大人と子どもたちがともに学び合い、地域コミュニティを活性化

イメージ図



※ 厚真地区、厚南地区にそれぞれ一つの学校運営協議会を設置し、小中の円滑な接続を図ります。

『厚真放課後子どもセンター』運用開始！

4月 15 日から運用開始となった放課後子どもセンターから、毎日子どもたちの元気な声が聞こえます。子どもたちは新しい施設に目を輝かせ、充実した遊び環境の中でイキイキと活動しています。また、中央小学校に隣接しているため、学校から放課後児童クラブへの移動の安全性が高まり、学校との連携もいっそう取りやすくなりました。運用開始後の子供たちの様子や新たな設備を紹介します。

これまでの放課後児童クラブでは、低学年・高学年で活動場所が分かれていましたが、現在は広い共同保育室内で１～６の全学年が一緒に活動をするようになりました。異学年交流の機会が増えたことで、お兄さん・お姉さんが小さい子のお世話をしながら、自然と一緒に遊ぶ姿が見られるようになり、交流を通じて子どもたちは多くのことを学んでいます。

共同保育室内

キッチンスペース

図書コーナー

ラウンドピット（円系のくぼみ）式の図書コーナー。専用スペースができて落ち着いて本が読めます！本の冊数も増やします。

デンコーナー

デンとは「洞穴」を意味します。階段状になっているので、登ったり、隠れたり、使い方は子ども次第！ひときわ目を引く人気のスポットです！

厚真放課後子どもセンターは一般の方の見学も可能です。
見学のご希望は、教育委員会社会教育グループまで連絡ください。☎27-2495

教科書展示会開催

教育委員会では、現在使用している教科書や令和２年度に使用予定の教科書見本の展示会を次のとおり開催します。教科書展示会は教科書の適正な採択のため、教科書見本をより効率的に利用するために設けられた制度です。

また、教育関係者だけでなく、保護者や一般の方々にも閲覧していただくことで、教科書や教科に対する理解を高めてもらうことを目的としています。

◆展示期間　６月１４日【金】～２７日【木】
午前９時～午後５時※土日も開催
※火・木　午後７時まで
◆と こ ろ　厚真町青少年センター
◆問 合 せ　教育委員会　学校教育グループ
☎２７－２４９４

４月定例教育委員会

４月２５日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項
各学校の教職員・児童生徒数について／「中学生海外派遣研修事業」募集要項等の配付について／平成３０年度標準学力検査の保護者への概要公表について／厚真中央地区学校運営協議会開催／厚真放課後子どもセンター開設式、児童クラブで運用開始／パークゴルフ場オープン（上厚真パークゴルフ場、本郷いこいの森パークゴルフ場）（６件）
◆議案
厚真町学校運営協議会規則の一部改正について（１件）
◆その他
グループ業務分担表･年間業務管理表について／平成３１年度「四者教育懇話会」の開催について（２件）
★問合せ
教育委員会　学校教育グループ
☎２７－２４９４

第31回さわやか町民登山会

自然に親しみながら体力づくりができる登山にチャレンジしてみませんか？

◆主　管　あつま山の会
◆共　催　厚真町教育委員会
厚真町体育協会
◆と　き　６月２３日【日】
午前７時００分　総合福祉センター前集合
午後５時００分　帰着予定
◆行き先　伊達紋別岳 714.5m（伊達市幌見内）
◆持ち物　ザック、昼食、副食類、雨具及び防寒着、水筒、軍手、ごみ袋、帽子、タオル、着替え、虫よけ等
◆服装等　行動に適した服装。靴は登山靴または運動靴で履きなれたもの。
◆定　員　３０人（小学生は保護者同伴）
◆参加料　記念品及び保険料等（当日の朝徴収）
大　人（中学生以上）１人５００円
子ども（小学生）　１人３００円
◆その他　雨天の場合は中止（当日の朝決定）
◆申込み　６月１８日【火】まで電話等で申込
教育委員会社会教育グループ
☎２７－３７７５（スポーツセンター）

青少年センターからのお知らせ

☆★☆プラネタリウム☆★☆

●投影日時
毎週土曜日（祝日を除く）
午後１時３０分～

●投影内容　春の星座解説
※グループ、団体などでご利用を希望の際は、事前にお問い合わせください。

お問い合わせ
教育委員会社会教育グループ
☎２７－２４９５

文化活動はじめませんか

下の表は、厚真町文化協会所属の文化団体一覧です。今年から「あつけん」「健康麻雀の会」が新たに加わり全２２団体になりました。趣味や打ち込めることを持つことは生きがいや健康的な生活につながります。また、共通の趣味を持つ仲間がいることで活動が楽しくなり、コミュニケーションの場も広がっていきます。表以外にも独自に活動をしている団体もありますので、今後ご紹介していきたいと思います。興味ある方は右記までお問合せください。　教育委員会社会教育グループ　℡27-2495

団体名	活動内容
写真同好会	写真技術の向上、撮影会の開催や町文化祭での出展
厚真書道会	書を極める練習と研修
茶道会	お茶の楽しみを広げる作法や所作を学びます
陶芸同好会	陶芸に親しみ、陶芸技術の習得と向上
樹石会	盆栽を育てる愛好者の集い、盆栽の鑑賞と普及
厚真町囲碁同好会	囲碁の技術向上、リーグ戦や定期大会の開催
厚真朋吟会	漢詩・俳句・和歌に込められた思いを声に出して表現
油絵の会	油絵や水彩画の創作
華道同好会	小原流生け花の教室を定期的に開催、町文化祭での展示と体験コーナーの開催
あつま文芸友の会	短歌の創作と研究、文芸あつまの発行
詩吟・吟舞同好会	詩吟・吟舞の研鑽習得、各支部発表会へ参加
厚真蜂月会	詩吟・吟舞の研鑽習得、各支部発表会
大正琴愛好会	大正琴の研鑽習得、普及と会員相互の親睦
厚真町民吹奏楽団	各楽器の技術向上、町内イベントでの発表
カラオケ穂波会	歌による交流・健康増進、町内イベントでの発表
カラオケ睦会	大声を出すことによる健康増進と明るい生活
厚真塊打太鼓	太鼓を通して厚真の自然風土や歴史を表現
ピュアダンス	ダンス技術の向上と会員相互の親睦を図り、秩序ある社交ダンスの交流
厚真郷芸保存会	気兼ねなく、太鼓に触れる機会を作り、太鼓を通じて子どもの成長を手助けする
キッズフラダンス	アロハの精神を大切にし、人としての礼節や仲間を思う気持ちを育み、フラを通してハワイの文化や外国語に触れながら楽しく学ぶ
あつけん	けん玉をとおしての世代間交流
健康麻雀の会	心身の健康の維持や親睦を深めるために活動

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所のある方の子弟で、大学等に進学された方に学資金の貸付を行っています。

●貸付対象者
（1）短期大学、大学、大学院（防衛大学校等を除く）
（2）高等専門学校（第４・５学年及び専攻科）
（3）専修学校専門課程（２年以上４年以内）
（4）国外において（1）～（3）に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校
上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準
学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額
月額６万円以内で１万円単位に希望する額

●利　　息　無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

●貸付方法
希望される金融機関の口座（保護者等）へ毎月上旬に振込みます。
・通常貸付：初回貸付は７月中旬（４～７月分）
・早期貸付：初回貸付は６月中旬（４～６月分）
※早期貸付の場合、前年（平成 30 年）の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

●返済方法
卒業後、６カ月の据置期間の後、貸付期間の３倍以内の期間で返済していただきます。

●提出書類
①申請書（教育委員会にあります）
②在学証明書
③成績証明書（最後に在学していた学校の証明書）
④健康診断書（入学後、学校で受けた結果の写し）
⑤課税資料閲覧承諾書（申請書に添付します）

●申込期限
令和元年５月 31 日（金）まで

●申 込 先　学校教育グループ
☎２７－２４９４

令和元年５月２４日発行

図書室だより

青少年センター図書室
℡２７－２４９５（平日）

６月は環境月間

SDGs（Sustainable Development GOALS）の紹介

2015 年 9 月、国連加盟国がより良い将来を実現するための計画を採択しました。15 年かけて「**持続可能な開発目標**」に取り組むことによって、貧困、不平等・不正義を無くす「誰も取り残されない」世界を実現しようとしています。この計画のことを「**SDGs（エスディジーズ）**」といい、目標が 17 項目（右枠内参照）設定されています。

地球をより良くする目標ときくと壮大で難しいことのように感じますが、「世界を変えるための 17 の目標」内容を確認してみると、すでに取り組んでいる項目もありますし、一人では無理と思う項目もあります。

環境月間中、青少年センター図書室に関連図書を展示しますので、15 年後の厚真町と地球がどうなっているのか、良くするために自分たちにできることなどをご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

＜今月の新刊＞
はればれ、お寿司　アンソロジー
落花　澤田瞳子／著
帝国ホテル建築物語　植松三十里／著
歩き続ける力　三浦雄一郎／著
オトクな国の新制度　プレジデント社
レモンのお菓子とケーキ　齋藤真紀／著
和えサラダ　藤井恵／著
釣りの結び完璧ＢＯＯＫ　…他

＜今月のあたらしい子どもの本＞
ちゅるちゅる　内山悠子／絵
どうぶつぱんやさん　さとうめぐみ／作
ななちゃんのはみがき　つがねちかこ／作
体育のにがてを克服！　米田功／監修
カタコイ　１・２巻　有沢ゆう香／作…ほか

■６月の休館日
青少年センターの休館日はありません

■青少年センター図書室開館時間
午前９時から午後５時（月・水・金・土・日）
午前９時から午後７時（火・木）
■厚南会館図書室
午前９時から午後５時（月～日）
※毎月５日・20 日が土日・祝日の場合は休館となります。

６月のおはなしのびっこは　27 日(木)10 時から　青少年センター図書室絵本コーナーです

☆放課後子ども教室☆

桜の便りとともに、キタコブシ、レンギョウ、水仙、ツツジと山も町も色とりどりの花盛り。一気に視界が明るくなりました。水田にも少しずつ水が入り、トラクターが代掻（しろか）きをする様子を目にすると、「今年も田植えの季節がくるなぁ」とワクワクとした気持ちになります。田舎まつりの頃には、小さな緑の苗が田んぼに行儀よく並ぶことでしょう。今年も美味しいお米が育つことを願っています。

４月後半の活動では、紙粘土を使ったクラフト（工作）や、ミニ実験でスライムを作るプログラムを実施しました。低学年も高学年もスライム作りは人気が高く、たくさんの子どもたちが参加してくれました。水と洗濯のりを混ぜたものに、ホウ砂水溶液を混ぜ合わせるとみるみる固まり、あっという間にスライムが完成。プニョプニョとした感触が気持ち良く、子どもたちも夢中になって遊んでいました。水性ペンで色付けをしましたが、単色で鮮やかなものもあれば、何色もの色を混ぜ合わせて、さわやかなパステルカラーから深みのある複雑な色合いのものまで、さまざまな仕上がりとなりました。子どもたちの個性が見える瞬間です。

新緑が芽吹く季節。大型連休も明け、いよいよ新１年生の放課後子ども教室への参加が始まりました。緊張した面持ちの子もいれば、今すぐ遊びたいとうずうずしている子もいます。受付の方法や活動の流れ、みんなで安全に楽しく遊ぶために守ってほしいルールなど、いくつかお話をしたあとは２・３年生も合流し、簡単なオニゴッコやリレーなどの仲間づくりのゲームを行いました。１年生に負けないほど、２・３年生も元気の良さがパワーアップしているのを感じました。これから１年間、子ども同士やスタッフとのかかわりを通してどのような成長を見せてくれるのかとても楽しみです。

４月後半から５月前半は天気が良い日も多く、外に遊びに出かけられる時間もたくさんありました。みんなで学校の周辺や学校林に散歩に出かけ、フキノトウの綿毛を飛ばしたり、タンポポや身近な山菜を摘んだりしながらのんびり過ごす放課後の時間。好奇心旺盛に、春の息吹を五感で感じとっている子どもたちでした。